



人と自然が育む美しい村



村の木：シラカバ



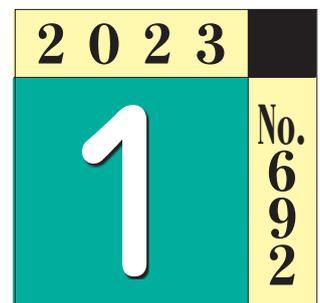
村の花：ムラサキヤシオ

～やすらぎと潤いのふるさとをめざして～



赤井川へき地保育所生活発表会／2022年11月26日

- 02 年頭あいさつ 赤井川村長・北海道知事
- 05 健康支援センターだより 食事で冷え性対策・有効期限間近です！ ほか
- 06 令和3年度決算報告
- 08 トピックス 赤井川中学校1日防災学校・村内ソフトバレーボール大会 ほか
- 10 むらの事件簿 川人正明氏瑞宝単光章受章・年末年始の火の取扱い ほか
- 11 スポーツニュース 各種大会の結果・チャレンジスキー教室Ⅰ・Ⅱ開催
- 12 お知らせ伝言板 村道等の除雪計画・所得税等の申告はe-Taxをご利用ください ほか
- 18 赤井川村2022年10大ニュース・編集後記



年頭あいさつ

赤井川村長



新年あけましておめでとうございます。

村民の皆様には常日頃より村政運営全般に渡り、深い御理解と御協力を頂いていることに改めて感謝とお礼を申し上げます。

昨年の年頭挨拶には新型コロナウイルス感染症について、「令和4年度内には落ち着きに戻ることを願うばかりです」とお伝えしましたが、思い描いていたとおりには治まっていけない事は非常に残念でなりません。世界的な動向として、国内も含め、新型コロナウイルス感染症と向き合いながら日常を取り戻す動きが加速しております。国内でも専門化チームが新たな対応などについて議論を進めてい

馬場 希

るとの情報もあり、人々の行動や経済活動は新たな段階へ進む年になると思っています。

■村の事業と展望

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症で混乱していた世界の経済活動は、2月に勃発したロシアによるウクライナ侵攻に端を発し、世界的な原油や食料不足を生み、生産資材の流通などにも大きな障害を与え、国内でも4月以降油脂系や日用雑貨をはじめとする、多くの消費資材が値上がりをするなど、私たちの生活に与える影響がいつまで続くのか、不安を抱かざるを得ない状況が続いています。ただ、幸いにも国の新型コロナウイルス感染症関連予算や原油・物価高騰対策予算の配分により、村民のみならずには当面の生活や事業の安定化へ繋がる一助となる各種支援事業が展開できるとは良かったと言えます。今年も、今後も続く

あろう物価高騰には、村としても危機感を持ちながら推移を見守る状況が続くことであろうと考えています。

村内に目を向けますと生活関連では、4月から「むらバス」の運行がはじまり、以前よりも多くのみなさんにご利用頂いております。今後も公共交通機関として安全運行を徹底し、より親しまれる「むらバス」に繋げたいと思っています。福祉介護分野では、こちらも4月からデイサービスセンターと訪問介護事業所を民間事業者が運営する体制（指定管理）に移行しました。これにより専門性の向上がサービスの向上へと繋がります。利用者の方には大変喜ばれております。今後も気軽に利用できる事業所運営が図られるよう、村としても民間事業者との連携や適切な運営指導を実施してまいります。



議会によるデイサービスセンターの視察が行われました。

令和4年3月31日を以て、北海道中央バス「赤井川線」が廃止となり、令和4年4月1日より赤井川村域公共交通「むらバス」の運行が始まりました。

赤井川線の最終便運行後には、北海道中央バス余市営業所へ感謝状を贈呈いたしました。



謹賀新年
本年もよろしくお願ひ申し上げます。

- 村長 馬場 希
- 副村長 大石 和朗
- 会計管理者 職員一同
- 総務課 職員一同
- 住民課 職員一同
- 保健福祉課 職員一同
- 産業課 職員一同
- 建設課 職員一同

- 村議会 議長 岩井 英明
- 副議長 山口 芳之
- 総務開発常任委員長 川人 孝則
- 議会運営委員長 能登 ゆう
- 議員 湯澤 幸敏
- 曾根 敏明
- 連 茂
- 外職員 一同

- 農業委員会 会長 阿部 猛
- 会長代理 永沼 隆治
- 委員 石川 隼人
- 関野 拓也
- 山口 拓也
- 佐々木 和之
- 中山 善彦
- 原口 多喜子



新規就農研修の様子（ロータリマルチの使い方を学んでいます）。

農業については、一昨年のような高温少雨は回避されましたが、春先の定植時の強風が作物の成長に影響を及ぼしたり、一部作物に生育障害が発生したとの農家さんの声も聞かれましたが、総じて平年並みの生産状況が確保されたと聞き安堵しております。一方、肥料や資材高騰分を販売価格へ転嫁させることは容易に進まず、収益性は低減したと伺っており、先行きが懸念される所です。このため、村としても肥料高騰対策を国の事業と連動させる形で、生産コストの急激な上昇を軽減させる対策方針を持ち対応を進める予定をしております。



カルデラ温泉における、温泉熱利用調査・検討を行うための源泉掘削調査並びに温泉熱を公共施設で活用するために必要な設備工事の設計を行います。

観光については、新型コロナウイルス感染症による行動制限が解除されたことから、村内への流入人口は通過型を含め夏以降増加しているように感じております。しかし、キロロリゾートの施設改修に伴うクローズも影響し、滞在してアクティビティを楽しんだり、村内の散策を楽しむ方の来村は限定されていたように思われます。

村内では現在、商工会・観光協会・赤井川村DMOなど関係者が村民も元気に楽しめ、村もPRできる新たなイベントの立ち上げに向けて検討を進めて頂いておりますので、村もサポートしながらよりよいイベントに育てられる形になることを期待しているところであります。また、エネルギー資源として温泉熱の有効活用を図る目的で現在掘削している新設の温泉井戸も順調に掘削が進んでおり、期待される湯量と温度が確保できる事を願うばかりです。



スキー場直結のコンドミニアム「YuKiroro」。住民視察研修会で内部の見学をさせていただきました。

■新年に向けて

今年4月に統一地方選挙が行われ、私も村長1期目の任期を終えることとなります。1期目当選当初にお約束した4つのテーマについて実現又は実現準備を進めていると言えるのは70%程度と自己分析しておりますが、100%に出来ていない点については私の力不足を痛感しております。現在は継続事業の安定実施に向け、令和5年度予算編成に取り組んでおり、厳しい財政状況に対応するため、国・北海道の支援事業も活用し、財源を確保することに重点を置いた作業を進めています。

結びになりますが、村民の皆様にとって、令和5年は物価高騰という荒波に立ち向かいながら迎える年であるうと思われませんが、村としては皆様が安心して生活できる環境づくりをしつかり継続する事をお伝えして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

教育委員会

教育長 根井 朗夫
 教育長代理 野田 満
 委員 小林 美香
 桐木 眞英
 外職員一同

選挙管理委員会

委員長 中西 貢
 委員長代理 佐々木 優
 委員 二川 英司
 中井 郁子

監査委員

大西 敏典
 湯澤 幸敏

固定資産評価審査委員会

委員長 二川 健司
 委員長代理 青木 清次
 委員 多田 幸夫

北後志消防組合赤井川支署
 団長 野田 満
 副団長 山口 芳之
 外職員一同

知事年頭所感

北海道知事 鈴木 直道

新年明けましておめでとうございます。新春を迎えるに当たり、謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の流行が続く中、ウクライナ情勢に端を発した国際情勢の変化に伴うエネルギーや原材料等の価格高騰や円安基調などにより、道民の皆様のご生活や事業者の方々の経営環境に大きな影響が及びました。また、記録的な大雪による交通障害や高病原性鳥インフルエンザが発生したほか、知床沖で発生した観光船遭難事故は多くの尊い命が失われる大変痛ましいものとなりました。道民の皆様のご安全・安心を守る重要性を改めて認識した1年となりましたが、本年においても、感染症をはじめとする様々なリスクへの対応に万全を期してまいります。また、物価高騰等への対応など足下の影響を緩和しながら、将来の成長につながる取組を後押しし、道民の皆様のご暮らしの安心と本道経済の活性化を図ってまいります。

一方、コロナ禍など困難な状況にあっても、北海道の魅力が広く発信された1年ともなり、北海道のアンテナショップ「どさんこプラザ」を道外に新たに3店舗出店したほか、3年ぶりに開催された「北海道マラソン2022」には、過去最多の約1万8千人が参加し、「ガーデンフェスタ北海道2022」では、恵庭市のメイン会場をはじめ全道各地の協賛会場に多くの方々にご来場いただきました。また、ふるさと納税の寄附受入額が、個人版・企業版とも、3年連続で全国1位となったほか、首都圏からの本社移転や、サテライトオフィス開設などの動きも引き続き活発となりました。

道民の皆様、そして北海道を応援してくださる多くの方々から、ご理解とご協力をいただいたことに、改めて感謝申し上げます。

新しい年においては、脱炭素化やデジタル化といった社会変革の動きの本格化や、世界的な食料需給を巡るリスクの顕在化を踏まえ、

「エネルギー」「デジタル」「食料」の3つの分野への対応がより大切となります。世界的に関心が高まっている脱炭素化に向けては、

本道の強みである豊富な再生可能エネルギーを最大限活用することが重要です。その上で、暮らしや生産性の向上、地域の活性化といった、次なる成長とその好循環につながるよう、「ゼロカーボン北海道」の実現に向けて、全庁一丸となつて取り組んでまいります。また、ICTやAI、ロボットなどの未来技術を活用した社会の実現に向けて、ドローンの実証を進めるなど、地域課題の解決に向けたデジタル化の取組を加速します。こうした取組を支える本道と本州を結ぶ送電と通信の2つの海底ケーブルの整備や、洋上風力など再生可能エネルギーの供給拡大に取り組み、「北海道データセンターパーク」の実現につなげてまいります。

食料安全保障の重要性の高まりに対しては、我が国最大の食料供給地域である北海道としての役割をより一層発揮できるよう、生産力と競争力の強化を積極的に進めてまいります。

本年は、国内外から大きな注目が集まるG7気

候・エネルギー・環境大臣会合やアドベンチャートラベル・ワールドサミット2023、全国豊かな海づくり大会が開催されるほか、北海道ポールパークFビレッジも開業します。こうした好機を確実に捉え、本道の魅力や強みを国内外に向けて発信していくことが重要となります。道民の皆様とともに、直面する様々な困難を乗り越え、北海道の価値を一層磨き上げながら、活力あふれる北海道の実現に向けて、全力で取り組んでまいります。

本年が、皆様にとりまして、希望に満ちた素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶いたします。

自衛官募集

自衛官候補生(男子・女子)・予備自衛官補(一般・技能)を募集します。

自衛隊札幌地方協力本部小樽事務所では、新型コロナウイルス感染症予防対策を万全にして説明会を随時行っております。

※自衛官候補生及び一般曹候補生の採用年齢が18歳以上33歳未満に改正されました。

お問い合わせ

自衛隊札幌地方協力本部
小樽地域事務所
小樽市稲穂2-22-4
樽石ビル2F
Tel 0134-22-5521

無料法律相談所の開設

日時

1月18日(水)
午後1時から午後4時

場所

余市町中央公民館(余市町大町4丁目143番地)
Tel 23-5001

※ご利用される方は、事前
に必ず余市町役場へご連絡
願います。

(Tel 21-2111)

健康支援センター だより

2023年が始まりました。本年も、どうぞよろしくお願いたします。皆さんにとって素敵な一年になりますように…。

食事で冷え性対策

赤井川村は豪雪地帯ですので、冬は大変冷え込みます。暖房器具や暖かい衣類は必須ですよ。では、身体をあたためる食事があることはご存知ですか？

○身体を「温める食材」・「冷やす食材」

身体を温める効果を持つ食材があります。

ちなみに、身体を「冷やす食材」であっても加熱することで身体を「温める食材」に変化します。

身体を温める食材

- 寒冷な季節や地方でとれるもの
- 根菜類
- 発酵食品 等

【例】

✓野菜・果物

玉ねぎ、ゴボウ、ニンジン、にんにく、生姜、小松菜、さくらんぼ、桃…等



✓その他

チーズ、卵、味噌、肉、赤身魚、紅茶…等



身体を冷やす食材

- 夏季が旬のもの
- 熱帯でとれるもの
- 精製食品、加工食品 等

【例】

✓野菜・果物

きゅうり、なす、トマト、海藻、バナナ、オレンジ…等



✓その他

白砂糖、牛乳、バター、豆腐、白米、コーヒー、緑茶…等



○たんぱく質

肉類などに多く含まれます。たんぱく質は熱源となる筋肉を作る効果があります。

○ビタミンE

末梢血管を広げて血液循環を良くする効果があります。ビタミンEを多く含む食材には、ししゃも、アーモンド、アボカド、たらこなどがあります。

冷え対策だけでなく、身体

の健康維持のために食事の工夫は大切です。食習慣の改善：栄養相談…と聞く

と難しそうに聞こえますが、実はそんなことは全くありません！
様々な食事のお悩み・希望に対して一緒に考えます。どうぞ、お気軽に保健師までお声がけください。

有効期限間近です！

次の定期予防接種は有効期限が間近です。期限が切れると、全額自己負担での接種になってしまいますのでご注意ください。

小児

■MR2期

○対象

令和4年度中に6歳になるお子さん（年長クラス）

○期限

令和5年3月31日まで

■二種混合

○対象

令和4年度中に12歳になるお子さん（小学校6年生）

○期限

令和5年3月31日まで

【高齢者】

■高齢者肺炎球菌

○対象

令和4年度中に65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳になる方

○期限

令和5年3月31日まで

■高齢者インフルエンザ

○対象

令和4年度中に65歳以上になる方

○期限

令和5年2月28日まで

※予診票、受診券を紛失された方は再発行可能ですので左記の担当までご連絡ください。

■お問い合わせ

保健福祉課保健係
Tel 3512050

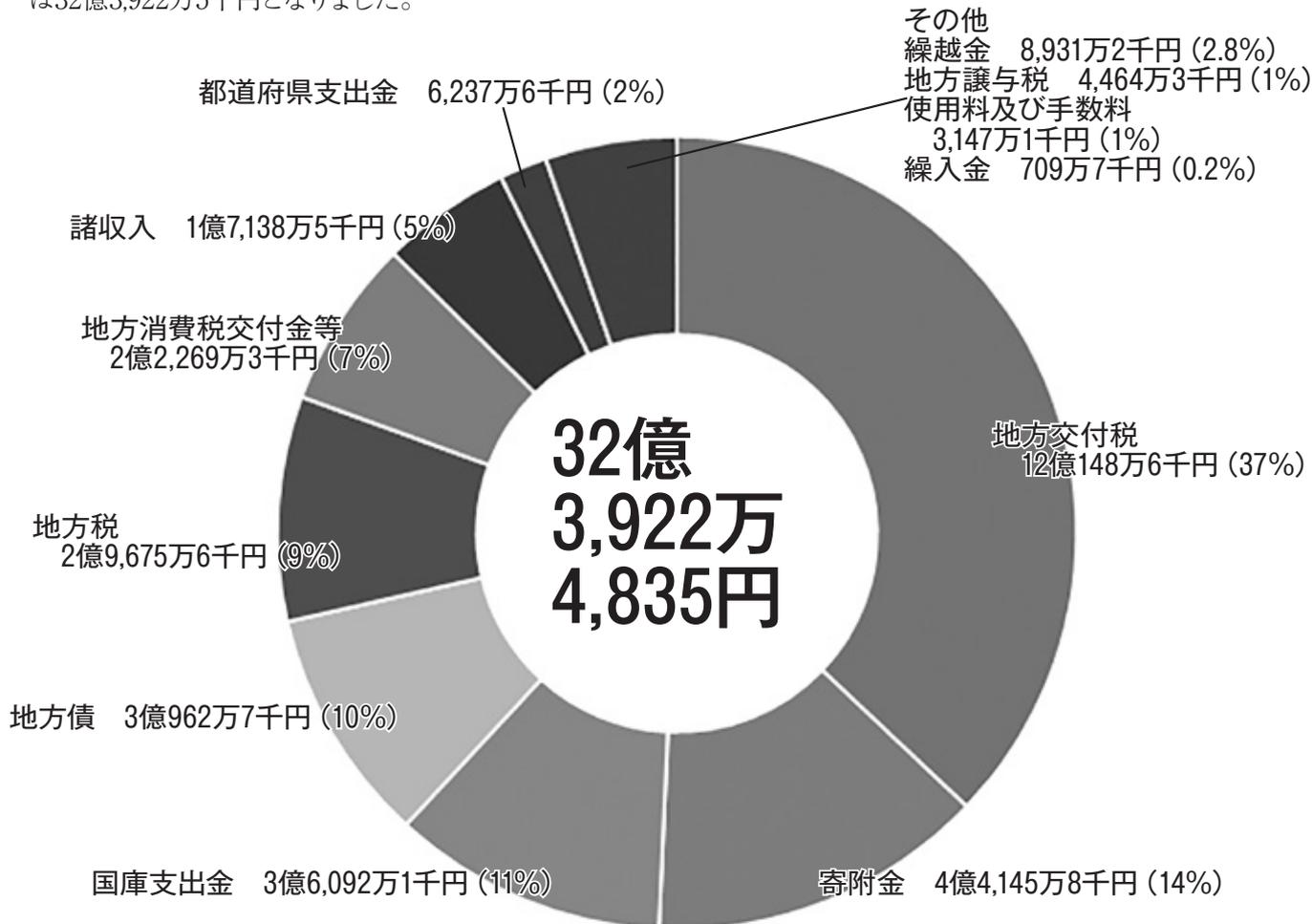
令和3年度 決算報告

一般会計の歳入決算総額は32億3,922万4,835円で、令和2年度決算に比べ12.54%増、歳出決算総額は30億9,755万4,981円で、令和2年度決算に比べ11.06%増となっています。歳入は普通交付税のコロナ禍における臨時経済対策分等に伴う増、歳出は高度無線環境整備推進事業（光回線整備事業）等に伴う増が主な要因です。

【一般会計歳入】

■歳入（収入）の構成

村民税・固定資産税などの地方税が2億9,675万6千円（収入全体の9%）、一定の住民サービスを確保するため人口や税収に応じて国から交付される地方交付税が12億148万6千円（収入全体の37%）であり、収入全体の46%を占めます。また、村が行う事業に対する国・道からの補助金などの国庫・道支出金が4億2,329万7千円（収入全体の13%）、ふるさと納税などで村に寄附いただいた寄附金4億4,145万8千円（収入全体の14%）となり、収入総額は32億3,922万5千円となりました。



【特別会計】

特定の事業を行うために一般会計と区分する必要がある場合に設けられる会計です。

区分	歳入	歳出
介護保険サービス事業特別会計	43,966千円	43,966千円
国民健康保険事業特別会計	41,016千円	41,016千円
後期高齢者医療特別会計	16,306千円	16,306千円
簡易水道事業特別会計	101,632千円	96,351千円
下水道事業特別会計	71,579千円	71,579千円

■主な事業の様子



地域公共交通バス車両購入事業
1,016万4千円



村体育館改修工事
2,805万円

【一般会計歳出】

■歳出(支出)の構成

村の事業運営に必要な物品の購入やシステム管理費用、通信費や公共施設の運営など物件費が5億9,620万円(支出全体の19%)、農業振興施策をはじめとする様々な団体等への補助金や負担金など補助費等が5億3,182万3千円(支出全体の17%)、給与や報酬など人件費が4億1,006万8千円(支出全体の13%)、道路・橋りょうなどの整備にかかる普通建設事業費が4億8,779万8千円(支出全体の16%)となり、支出総額は30億9,755万4,981円となりました。



■令和3年度の決算報告から見える『赤井川村の財政状況』

村民1人当たりにおいて、村税額や地方交付税などの使えるお金(収入)は281万7千円であり、使われたお金(支出)は269万4千円です。

さくら・もみじ事業や森林環境整備等のために、基金(一般家庭でいう預金)を709万7千円崩し、財政運営を行いました。

※住民1人当たりのお金は、令和3年4月1日現在の人口1,150人で割り返し、千円未満四捨五入により算出しています。

トピックス



赤井川中学校1日防災学校

2022.11.1 赤井川中学校

11月1日(火)、昨年度に引き続き「1日防災学校」が実施されました。今年度は、役場防災担当者が講師となり、水災害が起きるメカニズムと警報や警戒レベルについて学習をしました。

その後、ハザードマップを活用して自分の家を探し、避難場所や避難に必要な持ち物についてグループで話し合いを行いました。

生徒は自分の住む家からのより具体的な避難方法を考えることで、防災意識を高めることができた「1日防災学校」になりました。

村内ソフトバレーボール大会

2022.11.22 村体育館

11月22日(火)、赤井川村体育館で村内ソフトバレーボール大会を開催しました。感染症対策を行い6チームの参加により開催することができました。

各試合熱戦が繰り広げられ、好プレーがたくさん見られました。結果は「楽しみ隊」が見事優勝し、2連覇となりました。おめでとうございます。

この大会は勝つことももちろんですが、日ごろの運動不足解消や、交流を目的として実施しています。参加者たちは和気あいあいと交流していました。参加された皆さんお疲れさまでした。来年も多くの参加をお待ちしております。



都小学校1日防災学校

2022.11.25 都小学校

11月25日(金)、都小学校で1日防災学校が実施されました。まず、避難誘導の放送を聞いて全校児童で体育館に避難しました。その後北海道開発局の方に自然の美しさと災害の怖さについての講話をいただきました。災害状況の確認に利用するドローンも実際に飛行しているところを見せてもらいました。

後半は1・2年生、3・4年生、5・6年生の学年ごとに分かれ授業を行いました。1・2年生は防災カルタを用いて、防災について楽しく学びました。3・4年生は北海道開発局の方に改めて、自然災害について詳しく説明していただきました。5・6年生は段ボールベッドを組み立てたり、ハザードマップを利用したりして、自分の住む地域の自然災害による災害予測を確認しました。

災害の怖さや対策についてしっかりと学ぶことができ、充実した1日防災学校になりました。ご協力いただいた北海道開発局の皆さんありがとうございました。

赤井川へき地保育所生活発表会

2022.11.26 健康支援センター

新型コロナウイルス感染症予防対策のため、今年度はクラスを分けて保護者の入れ替えを行っての開催でした。

子どもたちはおゆうぎや劇など、体いっぱい、元気あふれる声で披露してくれました。発表会のステージに立って緊張した様子の子もいれば、楽しそうにしている子もいて、劇に歌に踊りに、今しか見られない表情を見せてくれています。子どもたちはこの日のために、沢山たくさんがんばってきました！保護者の皆さんの応援を受けて、練習よりも上手に発表できていました。

頑張る子どもたちの姿に、観覧に来ていた保護者の皆さんからたくさんの拍手をいただき、子どもたちもどこか誇らしげな顔をしていました。



赤井川村除雪説明会

2022.11.29 赤井川村役場

11月29日(火)、赤井川村役場において今年度の国道、道道及び村道の除雪計画について説明しました。説明後の質疑応答では各区会長により、これから本格的に始まる除雪事業に対して各道路管理者へ様々な要望が出されました。

今後とも住民の皆さまにご協力いただきたいと考えておりますので、お願いいたします。

ブックフェスティバル

2022.12.2 村体育館

12月2日(金)、村体育館にて令和4年度のブックフェスティバルを開催しました。

今年も北海道立図書館から、500冊の本とたくさんのしかけ絵本などをお借りして実施しました。

はじめは低学年と高学年に分かれて、読み聞かせを行いました。読み聞かせにはブックボランティアとして、児童の保護者の方々にご協力いただきました。その後は500冊の本を体育館の床にずらりと並べ、児童たちは自分の興味のある本を夢中になって5冊まで選んで借りました。

最後に各校から2名ずつ感想を発表しました。道立図書館やブックボランティアの方々への感謝の言葉や楽しかった等の感想が多くありました。

ブックボランティアの皆さん、先生方にご協力いただき、子どもたちに本の面白さや好きな本を借りる楽しさを伝えることができました。来年度も開催予定ですので、楽しみにしててください。



林業退職共済制度へ 加入しませんか

林業退職共済制度（林退共）は昭和57年に発足した林業界で働く方のために国が作った退職金制度です。

この制度は、事業主の方々が、従業者の働いた日数に応じて掛金となる共済証紙を共済手帳に貼り、その従業者が林業界をやめたときに林退共から退職金を支払うという、いわば林業界全体の退職金制度です。

掛金は、税法上について、法人では損金、個人企業では必要経費となります。掛金の一部を国が免除します。

○雇用事業主が変わっても退職金は企業間を通算して計算されます。

■**事業主の皆さまへ**
○共済証紙は労働日数に応じて適正に貼付してください。

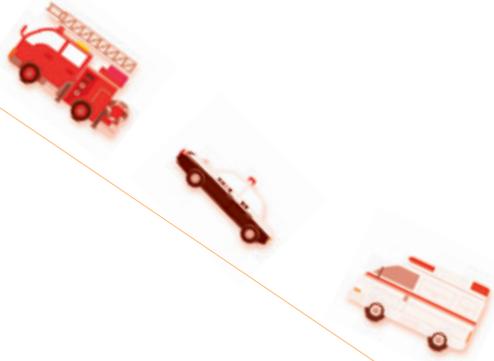
○共済手帳を所持している従業者が林業会を引退するときは、忘れずに退職金を請求するように指導してください。

■お問い合わせ

独立行政法人勤労者退職
金共済機構 林業退職金共
済事業本部

Tel 03-6731-2889

むらの 事件簿



川人正明氏 瑞宝単光章受章

赤井川消防団員として活躍いただいた川人正明さん(70歳/字都)が、令和4年秋の叙勲・瑞宝単光章を受賞され、12月8日に赤井川村役場にて伝達式が行われました。

川人さんは、昭和49年に赤井川消防団に入団。平成29年からは副団長に就任され、47年の長きに亘り、消防団活動に誠心誠意取り組み地域防災に尽力していただきました。

今後もご健康に留意され、益々のご多幸を御祈念申し上げます。
この度は誠にめでとうございます。



年末年始の火の取扱い

年末年始は休日が多く、外出などで家を留守にしたり事業所も無人になりがちです。火の取扱いには十分注意し、火災のない年末年始をすごしましょう。

■家庭では

- 外出時や寝る前には必ず火の元を確認しましょう。
- ストーブ等は定期的に点検を行い、調子の悪い時は専門の業者に見てもらいましょう。
- 子どもの火遊びに注意しましょう。
- 万一に備え避難する通路や場所などの除雪をしましょう。

○家族全員で火の取扱いや火災の恐ろしさを話し合いましょう。

■事業所では

○人の出入りの多くなる事業所では繁忙のため、火の取扱いがおろそかになりがちです。巡視体制を強化するとともに、避難誘導が円滑に行われるよう、従業員一人ひとりの責任分担を明確にしましょう。

○年末年始が休日になる事業所では、定期的に巡視を行うとともに、万一に備え除雪をしましょう。

消防団基礎訓練

11月18～20日の3日間、消防団員29名が参加し、基礎訓練を実施しました。訓練では、ホースを火点側から水利側に向かって延長する逆延長方法(普通は水利側から火点側にホースを延長)や消防用小型ポンプの取り扱い及び放水訓練を実施しました。機械操作や放水・放水技術を磨き実りのある訓練となりました。



余市警察署だより



詐欺電話シャットアウトセミナー開催

詐欺電話シャットアウトセミナー(1月)開催のお知らせです。

■日時

1月16日(月)
午後3時から約1時間

■場所

余市警察署3階大会議室

■参加方法

参加費無料

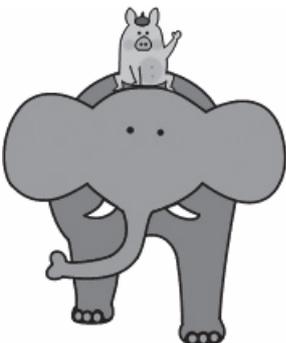
※人数制限がありますので、事前に電話等で予約をお願いいたします。

■その他

町内会などに出向いて開催する「出張セミナー」も行いますので、ご相談ください。

■お問い合わせ・申込先

余市警察署生活安全係
Tel 22-10110
(内線262)



だまされない像

余市警察署赤井川駐在所 Tel 34-6110
北後志消防組合赤井川支署 Tel 34-6033

違法・迷惑駐車防止

○違法・迷惑駐車は、見通しが悪くなり事故の危険が高まるほか、消防や救急活動を妨げ、冬の除雪の妨げとなり歩行者や車の通行の障害となるのでやめましょう。

○『道路を車の保管場所として使用すること』も保管場所法という法律違反となります。

この法律には、道路上に長時間駐車（12時間以上の駐車、夜間にあっては8時間以上の駐車）をしてはならないことなどが定められており、長時間駐車違反は、罰金20万円以下、違反点数2点という重い罰則が科せられています。

1月10日は「110番の日」

緊急通報は110番、相談電話は「#9110」

○110番は、事件・事故などが発生した際の緊急通報用の電話です。慌てず、落ちついて質問に答えてください。

○警察官が早く到着できるように、その場所の住所や

付近の目標となる建物などを正しく伝えてください。

○急を要しない困り事や相談は、警察相談電話「#9110」または最寄りの警察署、交番へお問い合わせください。



運転免許更新講習

新型コロナウイルス感染症防止対策のため受講制限を行っていますので、受講を希望される方は、事前に予約を行ってください。

優良運転者講習（30分）

1月11日（水）午後3時30分

1月24日（火）午後3時30分

一般運転者講習（1時間）

1月19日（木）午後1時

違反運転者講習（2時間）

1月11日（水）午後1時

1月24日（火）午後1時

初回講習（2時間）

1月11日（水）午後1時

1月24日（火）午後1時

※会場は全て余市町中央公

◆◇赤井川村SOSネットワーク◆◇

高齢者がいなくなったことに気づいたら
すぐに余市警察署へご連絡ください

「高齢者の行方不明が発生した」と伝えてください。

Tel 0135-22-0110

民館です。
※該当する講習をご確認の上、警察署等で更新手続き後、受講願います。
※「優良運転者」は過去5年間違反なし、「一般運転者」は過去5年間で軽微な違反が1回のみ、「初回講習」は運転免許を取得して5年未満、それ以外は「違反運転者等」講習を受講することとなります。

スポーツ ニュース

各種大会の結果

村内ソフトバレーボール大会

とき 11月22日

ところ 村体育館

成績

▽優勝 楽しみ隊（福田家）

▽2位 赤小中合同

▽3位 赤井川村役場

▽4位 職員組合青年部（役場）

▽5位 Sポーク（中央牧場）

▽6位 Aポーク（中央牧場）



チャレンジスキー教室

I・IIの開催

チャレンジスキー教室I
受講締め切り間近！

期日

1月14日（土）・15日（日）

の計2回

時間

午前9時30分～午後3時30分

（受付は9時10分から）

場所

キロロスキー場

講師

全日本スキー連盟公認指導員等

受講料

無料（昼食代、リフト券は自己負担）

対象

村内在住で、小学生以上

申込期日

1月10日（火）まで

チャレンジスキー教室II

期日

2月25日（土）・26日（日）

の計2日

申込期日

2月13日（月）

※時間、場所、講師、受講料、対象についてはチャレンジスキー教室Iと同様です。

申込み・お問い合わせ

赤井川村教育委員会

Tel 48-6281（直通）



お知らせ 伝言板

屋根からの落水雪 事故防止などのお願

毎年、冬になると沿道建物等からの落水雪による死傷事故が多く発生しています。

皆さんも、冬期間の生活にはご苦労されていると思いますが、冬期間の通行を円滑にし、落水雪事故を無くすためにも、次のことに注意するようお願いいたします。

○落水雪の発生が懸念されるような沿道家屋等については、雪止めを設置するようにしてください。

○既に雪止めが設置されている場合であっても、針金等の錆や老朽化等による破損が原因で落水雪が発生することもあるため、必ず点検し、破損等が見された際は早急に修繕するようにしてください。

○落水雪は、気温がマイナス3℃からプラス3℃程度のときに発生しやすい特徴があるため、早めに除雪するとともに、除雪は必ず複数人で行い、歩行者や付近で遊んでいる子ども等に十分注意するようにしてください。

○ビルの壁、窓枠、突飛看板等からの落水雪は少量

でも危険であるため、付着した氷雪は早めに除去を行うようにしてください。

○軒下を通行するときは、屋根からの落水雪に十分注意するようにしてください。

○軒下や道路では、絶対に子どもを遊ばせないようにしてください。

○落水雪があつた場合は、直ちに負傷者がいないか確認するとともに、歩行者の通行の支障にならないように直ちに除去してください。

○交通事故及び交通障害防止のため、屋根からの落水雪や敷地内の積雪を道路に出さないようにしてください。

所得税などの申告はe-Taxをご利用ください

■オンラインを活用して新型コロナウイルス感染症防止！

国税庁ホームページでは、スマートフォンやパソコンなどから、所得税・消費税・贈与税の申告書を作成し、e-Tax（電子申告）等で提出することができます。

くの方が訪れる確定申告会場ではなく、是非、ご自宅での申告書の作成・提出をお願いします。

詳しくは、国税庁ホームページをご覧ください。

◇さあ自宅でe-Tax！
確定申告書等作成コーナーから（リーフレット）
https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/shinkoku/ur4_smart_shinkoku/pdf/01.pdf



◇確定申告書の作成はこちら
<https://www.nta.go.jp/about/organization/sapporo/topics/kakutei/saku-sei/index.htm>



■e-Taxを利用するメリット！

○税務署に行かずに自宅から申告。

○生命保険料控除証明書、地震保険料控除証明書などの添付書類は、記載内容を入力・送信すれば提出や提示が不要。

※法定申告期限等から5年間、税務署から書類の提出や提示を求められるこ

とがあります。

○自宅からe-Taxで提出された還付申告は、3週間程度で還付。

○確定申告期間中は、24時間いつでも利用可能。
※メンテナンス時間を除きます。

（注）源泉徴収票の提出又は提示は不要です。

医療費の領収書の提出又は提示は不要です（代わりに、医療費控除の明細書の提出が必要です）。

◇確定申告に関する情報は国税庁ホームページ（<https://www.nta.go.jp>）をご覧ください。

※確定申告書等作成コーナー、e-Taxソフトの事前準備、送信方法、エラー解消などの使い方のお問合せはe-Tax作成コーナーヘルプデスクへ
TEL0570-011-5901

※マイナンバーカードに係るICカードリーダーの設定、対応機種、パソコン設定などのご質問は、マイナンバー総合フリーダイヤルへ
TEL0120-95-0178

■お問い合わせ
余市税務署
TEL22-2093

村道等の除雪計画

先月号の広報で冬の除雪計画をお知らせしておりましたが、詳細が下記のとおり決定しましたので、お知らせいたします。

「国道」の除雪計画

1. 除雪計画
令和4年11月1日 ~ 令和5年3月31日
2. 除雪路線及び区間
国道393号小樽市国道5号を起点に倶知安町国道276号まで
3. 除雪延長
58.4km (うち赤井川村管内 道路部26.6km 歩道部2.2km)
4. 受託業者
◇小樽市国道5号起点から赤井川村字轟(樺立トンネル)まで
宮本土建工業(株)
◇赤井川村字轟(樺立トンネル)から倶知安町国道276号まで
菊地建設鋳業(株)
5. 除雪に関する問い合わせ先
小樽開発建設部 小樽道路事務所 第2工務課
TEL 0134-22-9116
小樽開発建設部 倶知安開発事務所 道路工務課
TEL 0134-22-0133



「道道」の除雪計画

1. 除雪計画
令和4年11月1日 ~ 令和5年3月31日
2. 除雪路線及び区間
道道余市赤井川線 余市町国道5号を起点に赤井川村字都、明治入口まで
道道仁木赤井川線 仁木町国道5号を起点に赤井川村字都、都郵便局まで
3. 除雪延長
道道余市赤井川線 13.2km
(うち赤井川村管内 道路部 9.3km 歩道部 11.1km)
道道仁木赤井川線 13.3km
(うち赤井川村管内 道路部 1.9km 歩道部 1.9km)
4. 受託業者
◇余市赤井川線
小樽道路サポート協同組合(主に宮本土建工業(株))
◇仁木赤井川線
北後志サポート協同組合(主に中村建設(株))
5. 除雪に関する問い合わせ先
小樽建設管理部事業室 事業課 施設保全室
TEL 0134-54-7670
小樽建設管理部 余市出張所 施設保全室
TEL 0135-23-2196



「村道」の除雪計画

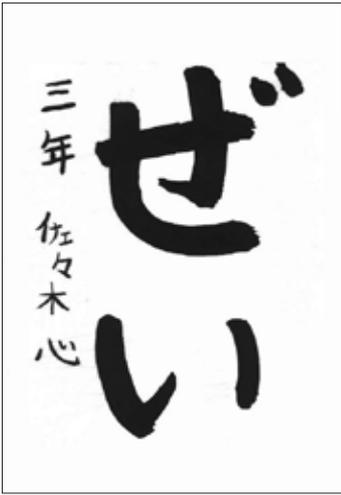
1. 除雪計画
令和4年11月1日 ~ 令和5年3月31日
2. 除雪路線及び区間
村道59路線を実施
例年と変更があります、変更箇所は先月号をご覧ください。
3. 除雪延長
道路部 55.1km 歩道部 9.5km
4. 受託業者
◇木村・八洲・中山・助っ人 特定業務共同企業体
代表者 (株)木村林業
5. 除雪に関する問い合わせ先
赤井川村役場 建設課 土木係
TEL 0135-48-6275 (直通)
TEL 0135-34-6211 (代表)



令和4年度

「税に関する書道」

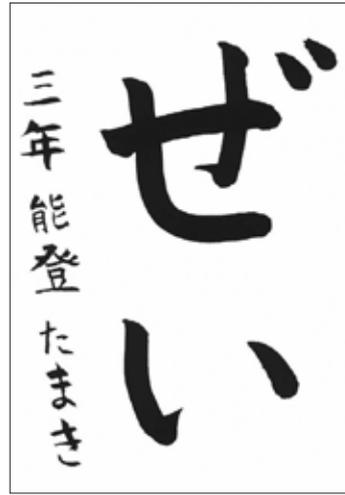
村の文化祭にて展示された「税に関する書道」の入賞作品を紹介いたします。また、北後志租税教育推進懇話会による「税を考える週間」の行事の一つとして、「小学生の税に関する書道展」が開催され、余市税務署長賞を赤小3年能登たまきさん、余市地方人協会会長賞を都小5年長谷川稜さんが受賞いたしました。おめでとうございます！



【小学3年～4年の部】
教育長賞
佐々木 心 (赤小3年)



【小学3年～4年の部】
議長賞
曽根 冴雪 (赤小4年)



【小学3年～4年の部】
村長賞
能登 たまき (赤小3年)



【小学5年～6年の部】
教育長賞
山口 倫生 (赤小6年)



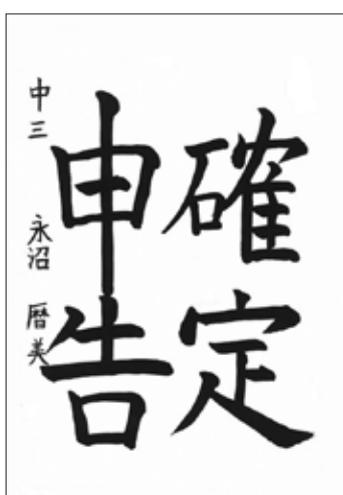
【小学5年～6年の部】
議長賞
長谷川 稜 (都小5年)



【小学5年～6年の部】
村長賞
藤田 奈穂 (赤小5年)



【中学の部】
教育長賞
藤田 雪穂 (赤中2年)



【中学の部】
議長賞
永沼 暦美 (赤中3年)



【中学の部】
村長賞
本間 香音 (赤中2年)

農業委員会だより

農業委員会総会 第31回

◆開催月日／11月28日

◆会議案件

◇農地法第3条第1項の規定による許可申請について

◇赤井川村農業振興地域整備計画の変更協議について

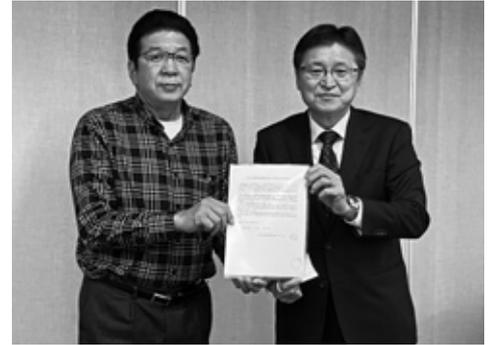
◇農地基本台帳の補正について

お知らせ

◇村との意見交換会が開催されました。

農業委員会では、農業振興施策の強化・充実を求める意見書を村に提出し、意見書の内容をもとに11月25日に意見交換会が開催されました。

赤井川村の農業に関する課題や現状を踏まえ、村の農業振興の方向性を確認しました。特に、重点施策である新規就農者の確保については、視察研修で学んだ「地域おこし協力隊」の活用事例を報告し、労働力確保対策として住宅整備を提案しました。



◇農地台帳の見直しを行います。

令和5年1月の農業委員会総会にて、農地台帳の見直しを行います。

見直しを行った際に、耕作が認められない方などには通知を行い、意見を求めますので、意見がある場合には農業委員会事務局（天野、二川）までご連絡ください。

◇農地情報の提供のお願い

皆様から提供いただいた情報によって、農地利用希望者（新たに農業を始めた方、規模拡大を考えている方、定年を迎え田舎暮らしを希望する方等）へ情報提供を行うことにより、農地の流動化を図っていきます。村内に空き農地をお持ちの方は、赤井川村農業委員

会事務局までご相談ください。

また、農地の賃借、売買及び転用は、農業委員会の許可が必要となります。賃借等をされる方は、農業委員会事務局までご相談ください。

◇受付件数 売買希望 9件 買受希望 2件

（令和4年12月14日現在）

◇適正な農地活用について 農地は、食料を生産するために重要な土地の一つです。農地での危険な行為や農作物の盗難等は絶対にやめましょう。

年金だより

年金手帳のご確認を

年金被保険者には、年金手帳が交付されます。年金手帳には、基礎年金番号等が記載されており、将来各種年金を請求するときに必要です。

年金手帳をもう一度ご確認の上、もし紛失された場合は役場経由で年金事務所に再発行申請を提出してください。

また、何らかの手違い等により、一人で複数の年金手帳を所持してしまうケー

スもあります。複数の年金手帳を所持していますと、年金を受取る際に時間がかかるなどの不都合が生じますので、複数の年金手帳を所持している場合も役場経由で年金事務所へ年金手帳重複取消書を提出し、1冊にまとめていただくようお願いいたします。

■お問い合わせ

住民課住民係
TEL 4816278（直通）

働いている調理師の皆さまへ

調理師法では、調理業務に従事している調理師は、2年ごとに、12月31日現在の調理従事場所等を届け出なければなりません。今年も届出の必要年となっています。

届出が必要な調理師とは、次の施設、店舗で調理の業務に従事している方です。

- 寄宿舎、学校、病院、事業所、社会福祉施設、介護老人保健施設、矯正施設、その他多数人に飲食物を調理して供与している施設
- 飲食店営業、魚介類販売業、そうざい製造業、複合型そうざい製造業

届出は、あなたが働いて

いる地域を担当区域としている北海道全調理師会小樽支部（とろり庵）TEL 013415418287）に1月15日までに提出してください。

届出用紙は、一般社団法人北海道全調理師会、小樽支部、最寄りの総合振興局（振興局）保健環境部保健行政室、地域保健室及び地域保健支所に備えてあります。

また、インターネットでの届出も可能です。次のウェブサイトにアドレス（URL）もしくはQRコードからアクセスしてください。

◇ウェブサイトにアドレス（URL）
https://www.har.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=ORTBL5bX
（QRコードは（株）デンソーウェブの登録商標です。）

詳しくは、左記までお問い合わせください。

■お問い合わせ

○後志総合振興局保健環境部保健行政室

TEL 013612311952

○余市地域保健支所

TEL 013512313104





「ゼロカーボン」ってなあに？ 第2回 村ではどんな取り組みをしているの？

『「ゼロカーボン」ってなあに？』、2回目の今回は、「ゼロカーボン」に向けた赤井川村の取組を紹介します。

赤井川村では令和2年に、SDGsを視野に入れた「赤井川村エネルギービジョン」を策定しました。（村のホームページにおいて公開していますので、ご興味を持たれた方はご覧いただければと思います。）

この計画の目的は、「村におけるエネルギーの消費特性やエネルギー資源、地域課題の把握とともに、村内における有望な再生可能エネルギーを活用したプロジェクトを抽出し、地域内での経済循環やエネルギーの多様化・多層化による新たな地域振興・雇用創出に寄与すること」とされています。

情勢の変化を取り入れるため概ね、5年ごとに見直しを行います。

【令和4年度に進めている施策】

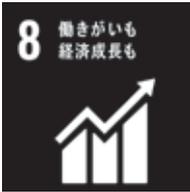
毎年、年に一度広報あかがわの紙面にて、赤井川村で取り進めているエネルギーに関する施策や事業について紹介しています。

令和4年度には、地域のエネルギー構造転換、脱炭素な村づくりを進めるため、現在進行中の調査結果や「赤井川村エネルギービジョン」を再考察し、村の経済活動の活性化や2030年に向け※、まち、くらし、しごとに寄与する持続可能な「赤井川村ゼロカーボンビレッジakaigawa推進戦略」の策定のため、村では村内各種団体の方等を委員に委嘱し、赤井川村ゼロカーボンビレッジakaigawa推進戦略会議を開催し業務を取り進めています。

※日本は、2021年（令和3年）4月に「2030年度において温室効果ガスの排出を46%削減（2013年度比）を目指すこと、さらに50%の削減に向けて挑戦し続けること」を表明しました。2021年10月22日に閣議決定された「地球温暖化対策計画」は、この新たな削減目標も踏まえ策定されています。（出展：環境省ホームページ）



「赤井川村エネルギービジョン」



赤井川村での再生可能エネルギーの取り組みは、持続可能な開発計画（SDGs）が掲げる17の目標のうち4つの目標と結びついています。

■モニタリングポストによる測定データ

年月日	空間放射線量率 (単位：μGy)	天候
2022.11.15	0.063	雨
11.18	0.051	晴れ
11.22	0.050	晴れ
11.25	0.052	くもり
11.29	0.057	くもり
12.2	0.051	くもり
12.6	0.043	晴れ
12.9	0.044	くもり
12.13	0.047	雨

※空間放射線量は平常レベルで推移しています。

- ◇公表
広報/毎週火・金曜日の午前9時現在データ（前月14日までの結果）を掲載
- ◇測定時間/10分間隔で常時測定
- ◇測定場所/北後志消防組合赤井川支署
- ◇測定機器/モニタリングポスト（北海道設置）
- ◇測定単位/μGy（マイクログレイ）

赤井川村では再生可能エネルギーの取り組みは、持続可能な開発計画（SDGs）が掲げる17の目標のうち4つの目標と結びついています。お知らせする数値は北海道により整備された環境放射線モニタリングポスト及びテレメータシステムを利用し取集されたもので、測定方法等は左記のとおりです。

赤井川村の空間放射線量の状況

村では本村にお住まいの方、また来村される方が安心して過ごすことができるよう放射線量率情報を公開しています。

お知らせする数値は北海道により整備された環境放射線モニタリングポスト及びテレメータシステムを利用し取集されたもので、測定方法等は左記のとおりです。

※H.P.で公表されている内容は役場庁舎ロビーに設置されたモニターでもご覧頂くことができます。

※H.P.で公表されている内容は役場庁舎ロビーに設置されたモニターでもご覧頂くことができます。

1月の気象情報

◆気温ー高30%・平30%
◆降水ー高40%・平30%
◆気温ー高30%・平30%
◆降水ー高40%・平30%

◆気温ー高30%・平30%
◆降水ー高40%・平30%

◆気温ー高30%・平30%
◆降水ー高40%・平30%

住民のまど

◇11月15日～12月14日届出
この期間に戸籍の届出はあ
りませんでした。

村長のうしぎ

◇11月15日～12月14日

- ◇15日◇全国治水砂防促進大
会／東京都
- ◇全国過疎地域連盟定
期総会／東京都
- ◇福岡県上毛町長との
懇談／東京都
- ◇16日◇企業版ふるさと納税
感謝状贈呈／東京都
- ◇中村裕之衆議院議員
との懇談会／東京都
- ◇17日◇全国町村長大会／東
京都
- ◇災害復旧促進全国大
会／東京都
- ◇企業版ふるさと納税
企業打合せ／東京都
- ◇18日◇国土交通省との道路
行政に関する意見意
見交換会／東京都
- ◇北海道「命のみち」
づくりを求める東京
大会／東京都
- ◇全国観光地所在市町
村協議会総会／東京都
- ◇19日◇自衛隊札幌地方協力
本部創立66周年記念

会食／札幌市

- ◇21日◇区会懇談会(落合区会
・常盤区会)／字落合
- ◇22日◇臨時議会／字赤井川
- ◇24日◇北海道電力(株)社長
他来庁／字赤井川
- ◇小樽市副市長退任挨拶
来庁／字赤井川
- ◇「認知症の理解・予
防」講演会講師来庁
懇談／字赤井川
- ◇小樽商業校校友会理事
来庁懇談／字赤井川
- ◇区会懇談会(2町内
区会)／字赤井川
- ◇25日◇北後志広域防災首長
会議／余市町
- ◇農業委員との意見交
換会／字赤井川
- ◇区会懇談会(1町内
区会)／字赤井川
- ◇26日◇赤井川へき地保育所
発表会／字赤井川
- ◇28日◇村の観光振興意見交
換会／字赤井川
- ◇30日◇「これからの高校づ
くりに関する指針」に
係る意見を聞く会(w
eb参加)／字赤井川
- ◇第2回赤井川村ゼロ
カーボンakagawa推
進戦略会議／字赤井
川
- ◇葬儀参列／余市町
- ◇12月
- ◇1日◇もみじ祭実行委員会
／字赤井川
- ◇キロロリゾート安全

祈願祭／キロロスキ
1場

- ◇2日◇北電総合設計幹部来
庁懇談／字赤井川
- ◇5日◇臨時議会／字赤井川
- ◇おおつきくれば政経
セミナー／札幌市
- ◇8日◇川人正明氏叙勲伝達
式／字赤井川
- ◇9日◇プロパティパーフ
ェクト社幹部来庁懇
談／字赤井川
- ◇13日◇第4回赤井川村議会
／字赤井川
定例会／字赤井川
／14日
- ◇1日◇土木工事検定
- ◇2日◇決算特別委員会
- ◇4日◇土木工事検定
- ◇7日◇除雪業務入札
- ◇地方公営企業会計職
員研修会
- ◇村営住宅入居者選考
委員会
- ◇8日◇社会資本総合交付金
検査
- ◇教職員人事協議
- ◇9日◇造林事業検討会
- ◇16日◇土木工事検定
- ◇新規就農研修生座学
研修会／17日
- ◇21日◇校長・教頭合同会議
- ◇教頭会議
- ◇25日◇令和4年度旅券事務
説明会

むらの日誌(11月)

人口と世帯

- ◇農業委員意見交換会
- ◇地方公営企業職員研修
- ◇28日◇普通交付税検査／
29日
- ◇第31回農協委員会総会
- ◇29日◇教育委員会議
- ◇除雪計画説明会
- ◇30日◇第2回赤井川村ゼロ
カーボンビレッジ
akagawa推進戦略会議

	日本人	外国人	総人口	前月比
人口	994	41	1,035	+17
男	501	18	519	+6
女	493	23	516	+11
世帯数	521	34	559	+14

※令和4年11月30現在

今月の表紙

今月の表紙は、赤井川へき地保育所生活発表会からの1枚です。

おゆうぎ「桃太郎」の桃太郎が鬼退治のために鬼が島に行った場面のもので。現れた鬼がこんなに可愛かったら退治できなくなりますね。



広報あかいがわから選ぶ

赤井川村2022年10大ニュース



第1位 北海道中央バス「赤井川線」79年の歴史に幕・「むらバス」運行スタート! / 4・5月号掲載

昨年の3月末日を持って北海道中央バス「赤井川線」が廃止になり、4月から地域公共交通バス「むらバス」が運行を開始しました。利用される皆さまにより親しまれる「むらバス」となるよう努めます。今後とも、「むらバス」をよろしくお祈りします!



第2位 温泉掘削が始まりました / 10月号掲載

赤井川カルデラ温泉における温泉熱利用調査・検討を行うための源泉掘削調査並びに温泉熱を公共施設で活用するために必要な設備工事の設計を行っています。

※「赤井川村写真館」へ掲載する写真を募集しています!

あなたが撮影した村内の風景や静物、人物などの写真を広報あかいがわに掲載してみませんか? 掲載したいまたはしても良いという方がおられましたら、役場総務課企画地域振興係までご連絡ください。なお、写真はプリント、データどちらでもかまいませんが、2300×1550PIXEL以上でお願いします。応募のあった中から内部で審査を行い掲載していきます。掲載希望がない場合は広報担当及び役場職員が撮影した写真やその他情報を掲載していきます。あなたもこの機会に赤井川村を見つめ直してみませんか?



第3位 高規格救急車運用開始! / 7月号掲載

最新鋭設備を搭載した高規格救急車を企業版ふるさと納税制度により地域住民の救急医療への大きな安心につながりました。



第4位 (株)ジェイアール東日本企画(jeki)との包括連携協定を締結 / 7月号掲載

赤井川村とjekiが相互かつ密接に連携することにより、双方の資源を有効活用した共創・協働による取組において包括的に連携する協定を締結しました。



第5位 赤中スキー部全国大会出場 / 3月号掲載

毎年紙面を賑わせてくれる赤中スキー部の皆さん。「全国大会」という大きな舞台での活躍の明るい話題に、いつも元気をもらっています。これからの活躍にも期待しています!

第6位 矢野花恋さん・北海道中学陸上競技大会走り幅跳び優勝 / 9月号掲載

第7位 鶴居村・赤井川村の中学生交流事業 / 9月号掲載

第8位 後志の6村による連携協定の締結 / 8月号

第9位 赤井川駐在所椀本所長勇退 / 4月号

第10位 赤井川駐在所幸田所長着任 / 5月号

編集後記

■明けましておめでとうございます。今年も広報あかいがわをよろしくお願いいたします!

今年にはピーコックグリーンという孔雀の羽根のような鮮やかな青緑色にしてみました! 今年こそ、様々な制限が解除され皆さまの生活に彩ある出来事がたくさんありますよう御祈念申し上げます。そんな気持ちを込めての鮮やかな色選択でした。(K)

【発行情報】 広報あかいがわ2023年1月号 (No.692)

■編集・発行 / 赤井川村総務課企画地域振興係

〒046-0592 余市郡赤井川村字赤井川74番地2

TEL 0135-34-6211 FAX 0135-34-6644

URL <https://www.akaigawa.com/> E-Mail info@akaigawa.com

■印刷 / (株)総北海 旭川市工業団地2条1丁目1-23

広報あかいがわでは、今後も村民の皆さんの身近な話題を掲載していきます。皆さんが予定している行事や参加しているサークル・ボランティア活動の話題などありましたら、総務課企画地域振興係までお知らせください。紙面の都合により掲載できない場合もありますが、できるだけ掲載するよう努力してまいります。また広報や村政に対するご意見・ご感想も募集していますので、メール又は郵送でお寄せください。

広報あかいがわに掲載された写真は被写体となった方や関係される方々へ提供することができます。ご希望の方はお気軽にご相談ください。



広報あかいがわは、震災復興型カーボンオフセット用紙を使用し、CO₂削減事業並びに東北経済復興を応援しています。また、環境に優しい道産間伐材を配合した用紙を使用しています。

